

Chihiro Ito

## 伊藤 千尋 ピアノ

札幌市出身。2009年よりノルウェーのグリーグ音楽院へ留学し、ピアノや室内楽を学んだ。2011年インターナショナルディプロマを取得後に帰国し、2012年北海道教育大学大学院の修士課程を修了。カワイピアノコンクール全国大会金賞、教育連盟ピアノオーディション入賞（最優秀生として公開レッスン受講生に選出）ハイメスコンクールピアノ部門第2位など、幼少の頃より日本国内のピアノコンクールにおいて入賞を重ねる。これまでに北海道教育大学卒業演奏会、札幌市役所ロビーコンサート、三岸好太郎美術館ミニリサイタル、JRタワー空のコンサートなど多数のコンサートに出演。毎年ノルウェーで開催される音楽祭や地方公演にも招聘され、世界各国の優秀な若手演奏家や指導者らと多数のコンサートを行っている。また、ソリストとして北海道教育大学オーケストラ、西区オーケストラ、札幌交響楽団と共演し、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番、第2番を演奏した。学生の頃より10年以上合唱の伴奏者としても長く活動し、札幌市内の中学・高校とともに10回以上全国大会に出場しており、現在も学生や一般合唱団の合唱ピアニストとして引く手数多である。また、これまでにベートーベンの第九やクリストフエッセンバッハ指揮のマーラーの第8番1000人の交響曲の練習ピアニストも務め、その実力を高く評価されている。オペラのピアニストとしても活動の場を広げており、北海道教育大学オペラ『秘密の結婚』『フィガロの結婚』、北海道二期会『蝶々夫人』『フィガロの結婚』『皇帝ティトの慈悲』『花咲かじいさん・目黒のさんま』、マリボー国立歌劇場『カルメン』、オペラファクトリー北海道『カルメン』『トスカ』、第一回hitaruオペラプロジェクト『フィガロの結婚』などのピアニストとして携わった。現在はフリーランスピアニストとしてこれらのような自身の演奏活動のみならず、後進の指導にも力を注いでいる。これまでに渡辺郁子、熊谷玲子、中村隆夫、二宮英美歌、樋口英子、Jan Hovden、Jiri Hlinkaの各氏に師事。  
ハイメスアーティスト会員。

